

機器利用技術講習会のご案内

【鍛造シミュレーション】

大阪府立産業技術総合研究所では、所有している試験研究機器等を用いて中小企業の皆様の新技術・新製品の開発や生産管理・品質管理のお手伝いをしています。これら試験研究機器の利用範囲、性能などの特徴をより具体的にご理解いただき、皆様方に一層ご利用いただくため、下記の要領で講習会を開催しますのでご案内申し上げます。

◆日 時：平成24年1月25日（水）13：20～15：20

◆場 所：大阪府立産業技術総合研究所（和泉市あゆみ野2-7-1 TEL:0725-51-2518）
当日は、講習開始時刻前に当研究所の玄関ホール講習会開催案内小ボード前に、お集まりください。担当者が講習会場にご案内します。

◆定 員：10名（1社2名まで）

※ 受講票は発行しません。定員を超えたときは、お断りする方のみにご連絡します。

※ 受講にはTRIカードが必要です。まだお持ちでない方は当日お申し込みいただけます（無料）。

◆費 用：無料

◆申込み先：大阪府立産業技術総合研究所 業務推進部 技術普及課

※ お申し込みはメール (fukyu@tri.pref.osaka.jp) またはFAX (0725-51-2509) でお願ひします。
メールでお申し込みを頂いた方のみ、返信で受付をお知らせします。

なお、メールでお申し込みを頂いた方には、当研究所の関連情報をお知らせする「産技研ダイレクトメールニュース」を配信させていただきますので、ご了承下さい。

◆対象機器：鍛造シミュレーション

本装置では、鍛造加工における素材の流れ、金型への素材の充填、プレス荷重、金型応力などをシミュレーションできます。金型形状の検討などにご活用いただけるため、生産準備期間の短縮やコスト削減といった効果が期待できます。

最近では、従来から広く行われている金属部品の鍛造加工に加えて、板鍛造や電池筐体成形といった薄肉部品の鍛造加工することも増えており、このようなシミュレーション技術の重要性はますます高まっています。本装置は、有限要素法（FE）と有限体積法（FV）の両方のソルバーを有しているため、従来の金属部品鍛造（冷間・熱間）から、板鍛造品や電池筐体などの薄肉部品までの鍛造加工を幅広くシミュレーションすることができます。鍛造に特化したシミュレーションソフトウェアであるため、金型データの読み込み、解析条件の設定、解析の開始から結果表示までを比較的容易な操作で行えます。本講習会では、本装置の機能紹介および操作方法の説明を行い、鍛造シミュレーションの理解を深めていただきます。

システム等に関するご質問は、下記講習担当者までお問い合わせください。

◆講習担当：大阪府立産業技術総合研究所（TEL:0725-51-2518）

機械金属部 加工成形系 四宮 徳章、白川 信彦



